

緑地グラウンド少年面グラウンド作成マニュアル

平成23年11月作成

-少年1号面-

・バックネット～1塁側



- ①始点の杭～デッドライン～ベンチライン。
～1塁側は虎ロープのネットを使用。
- ②始点の杭からバックネットに向かって直線に。
～チューブを上手く使ってバックネットにしぼる。
- ③ちょうど真ん中に3本目の杭を打ち込む。
～ネットがたるまないように張って。



・バックネット～3塁側



- ①始点の杭の位置～ベンチラインから
～3塁側は黄色ロープのネットを使用。
- ②真ん中の杭とスコアボードの位置関係。
～地面に打つピンは杭と杭の間に1本ずつ。
- ③1塁側と同様にチューブをバックネットへ。
～バックネット作成マニュアル参照。



・ボールデッドライン

～1塁側～



～3塁側～



1塁側

ベンチラインの外野側50cmから
～両端に黄色ロープのマークあり

3塁側

ベンチラインの外野側から側溝
～側溝の内側が原則、ラインなし。

緑地グラウンド少年面グラウンド作成マニュアル

平成23年11月作成

-少年2号面-

・バックネット～1塁側



- ①始点の杭～デッドライン～ベンチライン。
～1・3塁側とも虎ロープのネットを使用。
- ②始点の杭からバックネットに向かって直線に
～チューブを上手く使ってバックネットにしぼる。
- ③ちょうど真ん中に3本目の杭を打ち込む。
～ネットがたるまないように張って。

注意)

- ・2号面のネットは2枚とも同じ長さ。
- ・バックネット側で少し余ります。

・バックネット～3塁側



- ①始点の杭の位置～ベンチラインから
～ネットを張ると余るのでバックネット側で調整。
- ②真ん中の杭とスコアボードの位置関係。
～地面に打つピンは杭と杭の間に1本ずつ。
- ③1塁側と同様にチューブをバックネットへ。
～バックネット作成マニュアル参照。

・ボールデッドライン

～1塁側～



～3塁側～



1塁側

ベンチラインの後方ラインから

～外野方向、直線上に黄色のマークあり。

3塁側

ベンチラインの外野側から側溝

～外野方向、直線上に黄色のマークあり。

注意)

- ・観戦用パイロンを3塁側ベンチ後方に
ベンチの幅をこえないように設置。

緑地グラウンド少年面グラウンド作成マニュアル

平成23年11月作成

-少年3号面-

・バックネット～1塁側



- ①始点の杭～デッドライン～ベンチライン。
～1塁側は虎ロープのネットを使用。
- ②始点の杭からバックネットに向かって直線に
～チューブを上手く使ってバックネットにしぼる。
- ③ちょうど真ん中に3本目の杭を打ち込む。
～ネットがたるまないように張って。

注意)

- ・バックネット側で少し余ります。
- ・上手いことチューブで固定すること

・バックネット～3塁側



- ①始点の杭の位置～ベンチラインから
～ネットを張ると余るのでバックネット側で調整。
- ②真ん中の杭とスコアボードの位置関係。
～地面に打つピンは杭と杭の間に1本ずつ。
- ③1塁側と同様にチューブをバックネットへ。
～バックネット作成マニュアル参照。

注意)

- 始点の杭とベンチラインを要確認。
- 斜めにデッドラインが引かれます。

・ボールデッドライン ～1塁側～



～3塁側～



1塁側

ベンチラインの外野側から側溝の内側。

3塁側

ベンチラインの外野側から側溝の内側。

注意)

- バックネット・ベンチラインを除き
すべて側溝の内側。ラインは引きません。

緑地グラウンド少年面ネット設置マニュアル

平成23年11月作成

一設置の仕方一



写真①



写真②

- ①まず先に杭を打ちましょう。(杭は3本)
～杭の位置は各号面の画像参照。
～バックネットの際から直線に。(写真①)

- ②ベンチ側からネットを張ります。
～杭とネットに隙間ができない。(写真②)

- ③チューブ側がバックネットにきます。
～ネットがたるまないように張って。
～チューブ側でネットの長さを調整。(写真③)



写真③



写真④

- ④必ずネットの下部は内側に余らす。
～杭の打ち込みが足りません。(写真④)

- ⑤最後にピンを3本打ちます。
～ピンを打ち込む位置。(写真⑤)



写真⑤

一片づけ一



写真⑥

- ①第1試合の当事者チームはネット張り・ライン引きを完了させること。
～使用したハンマー等の備品は設置後、本部倉庫に返却。
～ネットの入ったズタ袋は各号面のベース入れに置いておく。(写真⑥)

- ②最終試合の当事者チームは試合終了後、すみやかに備品を返却。
～ベース・ラインカー等、本部倉庫の扉に一覧があるので忘れ物なく。
～打ち込んだ杭を抜くときは小さな円を描きながら抜くこと。